

**労働組合の弱体化を目的とした強制配置転換を許すな！
本人希望に沿った異動、自発的な成長とその環境の整備の実現をめざし、
組織破壊攻撃に屈せず、仲間とともに決起する**

品川支部怒りの緊急集会を開催しました！



2021年11月26日、赤羽会館小ホールにて「労働組合の弱体化を目的とした強制配置転換を許すな！本人希望に沿った異動、自発的な成長とその環境の整備の実現をめざし、組織破壊攻撃に屈せず、仲間とともに決起する品川支部怒りの緊急集会」を開催し、50名を超える仲間が結集しました。

田町運転区分会の林執行委員長に対し、「大田運輸区・運転士」の事前通知が行われ、この間、東京地本への要請書や簡易苦情処理などのたたかいを積み上げてきました。しかし、会社は林執行委員長の想いに立つことはなく、残念ながら発令は覆りませんでした。

長年田町運転区で指導担当を担い、安全のキーマンである林執行委員長にかけられた強制配置転換について職場の組合員からは「職場で慕われている林執行委員長への強制配置転換は許せない」、「林執行委員長が異動することにより安全レベルが低下し職場が暗黒になってしまう」などの声が寄せられています。

この強制配置転換は、**林執行委員長個人だけではなく、労働組合全体にかけられた攻撃でもあり、管理者が発した「置き石は輸送サービス労組がやった」という不当労働行為発言に対して抗議したことへの報復とも取れる行為です。職場の安全レベルを低下させ、本人希望無視し、組織の弱体化を目論んだものであり絶対に許されるものではありません！**

今後も引き続き、品川支部は林執行委員長への「発令撤回」を強く求め続けます！！



田町運転区分会 林執行委員長 決意表明

簡易苦情処理の結果を渡したのは副区長。区長は雑用中だった。普通は区長が渡すべきであり、失礼だ。異動先の業務のこともあるし、職場の今後のことも考えなければならず不安がたくさんある。だがこの間、仲間の大切さを実感した。一人ではたたかえないし、労働組合に入っているからこそたたかえた。職場の若手に転勤のあいさつをする時にはそのようなことも伝えている。

今回の私を契機に強制配置転換をさせないというたたかいをつくらなければならないし、みんなでたたかいをつくりだしていきたい。共に頑張っていこう！